

令和7年度 ガイダンス後の未来へ ～ 心の片隅に ～

これから社会へ踏み出すみなさんに、ちょっとだけ「未来」の話をさせてください。
何もかも嫌になってしまったり、高い壁にぶつかったりしたときに、思い出してほしいことがあります。

今日の講師の方々の話と重なる部分もあるかもしれませんが、これからの人生を歩んでいく中で、みなさんの心の片隅にそっと置いておいてほしいこと・・・
少しだけ、耳を傾けてもらえると嬉しいです。

人生 100 年時代、社会人としての「80 年」という長い道のり

みなさんは、自分は何歳くらいまで生きると思いますか？
いま、世の中的には「人生 100 年時代」と言われています。

そう考えると、皆さんが社会人として過ごす時間は、なんと「80 年」もあります。
これまで歩んできた約 20 年という時間を、あと 4 回も繰り返すことになります。
そう思うと、ものすごく長い時間ですね。
これだけ時間があれば、楽しいことばかりではありません。
人間関係でボロボロになったり、大きな挫折をして「もう立ち直れない」と感じたりすることだって、一度や二度はあるはずです。
実際、その重みに耐えきれず悩んでいる人は、この世の中にたくさんいます。

道に迷っても、立ち止まってもいい。あなたは一人じゃない

80 年もある長い道のりです・・・
どうか覚えていてください。
ちょっとくらい道に迷ったり、立ち止まって休んだりしたって、全然いいんです。
諦めないでほしい。
今の道がダメだと思ったら、別の道はいくらでもあります。新たな道を探しましょう。
遠回りしたって 休みながらゆっくり進むときがあっても
長い人生 いいのではないのでしょうか。

だから、自分一人で抱え込みすぎないでください。
家族や友達に誰かに相談してください。
‘ あなたの幸せを願う ’ 人たちは
立ち上がろうとするあなたを
‘ 全力で応援し 手を伸ばし続けたい ’ と思ってる。
ずーーーーーっと！
そして、いざとなったら頼れる場所も、相談できる機関も必ずあります。
市役所も相談できる機関のひとつです。

忘れないで

あなたは決して一人ではありません。

だから、絶対に自分の人生を投げ出さないで

『あきらめないでください』

まずは全力で挑戦し、自分の足で歩いていく

もちろん、最初から諦めるのではなく、まずは全力で挑戦してほしい！

進路や就職先など何かを選んだときに、

まわりの環境や「〇〇に言われたから」と誰かのせいにすることはやめましょう。

後悔しても 言い訳しても . . .

結局、決めているのはあなた自身だから。

いーっぱい いーっぱい 考えること。

今は選べない 受け入れるしかない状況であれば . . .

この状況に悔しさや喪失感を感じてしまうでしょう。

でも だけど いつか

働きながら夢を叶える方法や、自分の力で学び直す道だってある！

自分で環境をつくって、再び挑戦する扉を開くことだってできる！

「自分の意志は何かに影響されたら、あきらめきれものなのか」

決定権はいつだって自分自身。

自分の足で歩こうとしてほしい 歩いてほしいです。

その中で経験する成功も、そして苦い失敗も、すべてが「80 年」を生き抜くための大切なエネルギーになります。

乗り越えた壁は、あなたが進む力となる。

あなたが挑戦した経験は、次へ進む確かな糧となります。

周りを大切にしながら、自分らしく成長し続ける

誰もが、何かしらの悩みを抱えながら毎日を過ごしています。

だからこそみなさんには、自分のことだけではなく、

大切な人や仲間の変化に気づき、寄り添い、尊重し合える人になってほしい。

そして

背中を押してあげられる人になっていってもらえたらうれしく思います。

自分が思っている以上に私たちはたくさんの方に支えられ、生きています。

‘ ありがたい ’ ことです。

‘ しあわせ ’ なことです。

周りへの感謝の気持ちを忘れず、人として視野を広げ、これからも成長し続けてください。

あなただけの人生を、自分らしく

「誰のためでもない……あなただけの人生です」

十人十色、自分らしい色で人生を楽しんでいてくださいね。

皆さんの長い旅路が、豊かで充実したものになるよう、心から応援しています。

今日、このガイダンスの適性診断を通じて自分では気づけなかった職業の魅力に出会えたこと、そして講師の方々から学んだ多くのことが、これからの進路を考えるうえでの大きなヒントになれば幸いです。

そしていつか、前に進めなくなったとき、今日のこのメッセージを心の片隅から思い出してもらえたら――

最後に。

あなたがあなたらしく いられるように。

心から。こころから・・・ たくさんのエールを送ります！！

ご縁を大切に。 感謝の気持ちを忘れずに。。。

いっぱい笑って たのしい人生を。

“ あー楽しかった みんなありがとう ” と思える人生を・・・

共に・・・

応援しているよ――――――――――

― あとがき ―

苦しいときほど

自分を認めてあげましょう。

‘頑張っている 踏ん張っている 自分をほめてあげましょう’

大丈夫 自信をもって

ひとつ ひとつ 今 できることを ……

あるこう あるこう わたしは げんき～ ♪